

## 重点戦略課題 ④

# 地域での健康づくりの推進

## 市民生活の姿

市民一人ひとりが自らの健康に高い関心を持って暮らしています。地域、学校、職場など生活の場には健康づくりを支える環境が整っており、生活習慣の改善や体力の増進など、それぞれが自分に合った健康づくりを主体的に実践しています。

## 現状と課題

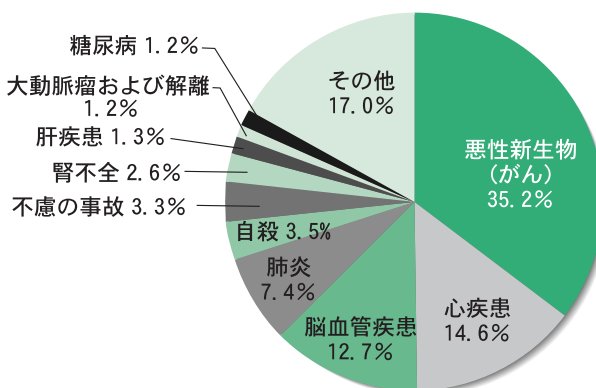
### 主体的な健康づくり

急速な高齢化と生活様式や社会環境の変化に伴って、がん、循環器病、糖尿病など生活習慣病<sup>17</sup>の増加、心身機能の低下による閉じこもりや介護を要する高齢者の増加などが問題となっています。

市民一人ひとりが「健康は守るもの」から「健康はつくるもの」へと発想を転換し、食生活、運動、飲酒、喫煙、ストレスといった生活習慣の改善など、健康づくりに主体的に取り組むことが求められています。

また、高齢になっても生きいきとした生活を続けるために、地域活動へ参加するなど、外出の機会を増やすことが大切です。

### ●死因別で見た死亡者の割合



〈資料〉札幌市「札幌市衛生年報」(平成14年)

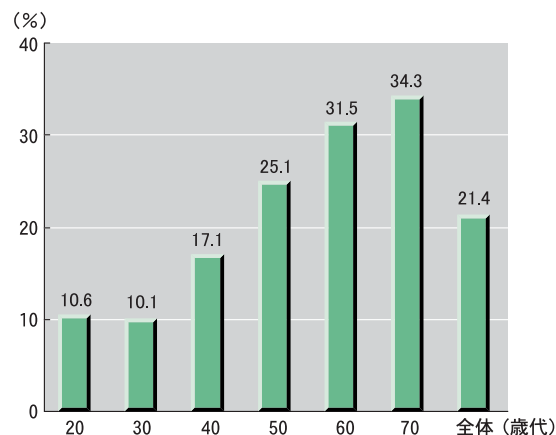
### 地域における健康づくり

健康づくりは、市民一人ひとりの努力はもとより、身近な地域の活動が大きな役割を担っています。

札幌市では、「地域組織の育成」「人材養成」「健康づくりの普及啓発」の3つを柱として地域の健康づくりに取り組んでいますが、活発に活動が行われている地域がある一方、まだ地域全体に活動が広がっているとは言えない状況もあります。

市民の自主性を基本とし、市民と行政が協働して、健康づくりを地域に定着・発展させていく必要があります。

### ●運動習慣のある成人の割合



〈資料〉札幌市「健康づくり基本計画に関する市民意識調査」(平成12年)

<sup>17</sup>生活習慣病 長年の好ましくない生活習慣によって引き起こされる慢性的の病気。糖尿病、高血圧症、高脂血症、がん、脳卒中、心臓病などがある。

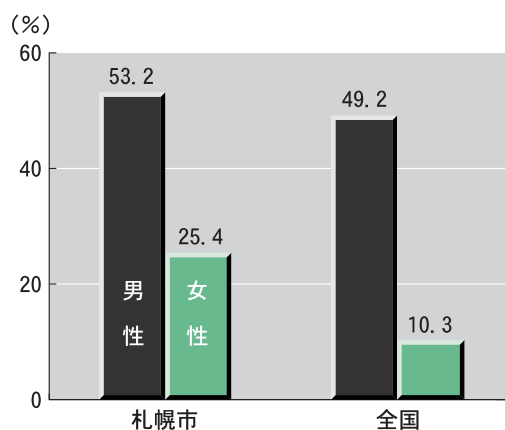
## 健康づくりを支える社会環境

幼年期から青年期にかけて、保育所・幼稚園・学校は多くの時間を過ごす場であり、集団生活を通じて社会性や望ましい生活習慣を身につける場と言えます。また、職場は、勤労者にとって長い時間を過ごす場であり、勤労者の健康づくりに大きな影響を与えます。

企業や商店は、健康に関連する商品やサービスなどを通じて、市民が健康的な生活習慣を選択できるよう、健康についての情報の発信者であることが求められています。

それぞれが特性や機能を活かし、市民の健康づくりを支える活動や環境づくりに取り組んでいくことが重要です。

### ●成人の喫煙率



〈資料〉札幌市「健康づくり基本計画に関する市民意識調査」(平成12年)  
厚生労働省「国民栄養調査」(平成11年)

## 各主体の主な役割

### 市民

- 健康度の把握
- 健康づくりの実践と仲間づくり
- 地域の健康づくり活動への参加 など

### 保健医療関係団体・企業等

- 専門的な相談・情報提供
- 職場での健康管理や健康教育・相談の実施
- 良質な健康関連商品・サービスの提供
- 地域の健康づくり活動との連携 など



### 町内会・NPO・ボランティア団体等

- 健康づくりについての学習・実践の場や機会の提供
- 地域の健康づくり活動との連携 など

### 行政

- 市民への情報提供、理解の促進
- 地域の健康づくり活動の支援
- 健康づくりを支援する環境の整備 など

# 施策と事業

## 施策の基本方針

市民一人ひとりが生涯を通じて健康であることを目指し、市民の健康づくりについての意識を高め、主体的な取り組みを支援していくとともに、地域、企業、学校その他関係機関などと連携し、健康づくりを支える環境の充実を図ります。

### 重点戦略課題④

### 地域での健康づくりの推進

施策 1 一人ひとりの健康づくりの支援

施策 2 地域での健康づくりの促進

施策 3 健康づくりを支援する社会環境の充実

## 施策 1 一人ひとりの健康づくりの支援

「自分の健康は自分でつくる」という基本的な考え方のもとに、幅広い情報提供、健診や健康に関する相談・教育、介護予防の取り組みなどを進め、市民一人ひとりの健康づくりに対する意識を高めるとともに、健康づくりを継続して実践できるよう支援します。

事業名	事業内容	事業費	備考
「健康さっぽろ21」推進事業	「健康さっぽろ21（札幌市健康づくり基本計画）」の着実な推進に向けて、市民の健康づくりへの関心を高めるきめ細かな情報提供、企業や職域との連携の基盤づくりなどを進めます。	34百万円	<ul style="list-style-type: none"><li>● ホームページによる健康支援プログラムの提供</li><li>● 企業の健康管理体制の調査</li><li>● 管理者への健康教育</li></ul>
「食育」推進事業	市民の「食」に関する意識を高め、健全な食生活の実践を支援するため、食生活指針の策定、フォーラムの開催やボランティアとの連携による「食育」の普及啓発活動などを展開します。	5百万円	
歯周疾患検診事業の充実	歯周疾患の早期発見、早期治療を推進するため、検診の対象年齢を拡大します。	40百万円	<ul style="list-style-type: none"><li>● 40・50歳 ⇒40・50・60・70歳</li></ul>

事業名	事業内容	事業費	備考
転倒骨折予防推進ネットワーク事業【再掲】	高齢者の転倒骨折の予防・再発防止を進めるため、保健・医療・福祉関係者等によるネットワークを構築し、適切な支援体制づくりや予防知識の普及を図ります。	60百万円	

## 施策 2 地域での健康づくりの促進

地域の健康づくりを推進する担い手となる人材の育成、町内会などの住民組織への支援や市民グループの育成などを通じて、主体的かつ継続的な健康づくり活動を促進するとともに、相互のネットワーク化を図り、地域全体に健康づくりの輪を広げます。

また、学校開放の充実や地域住民が主体となった地域スポーツクラブ<sup>18</sup>を育成するしくみの検討など、身近で利用しやすいスポーツ環境の整備を通じて、気軽に楽しい健康づくりへの取り組みを支援します。

事業名	事業内容	事業費	備考
地域での健康づくり活動推進事業	地域の中に健康づくり活動を広げていくため、中心的役割を担う人材を養成するとともに、グループ活動の育成やネットワークづくりの支援を行います。	57百万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>●リーダー養成研修</li> <li>●自主活動グループへの助成制度</li> <li>●ネットワーク会議の開催など</li> </ul>
東区パートナーシップヘルスケア事業	乳幼児からお年寄りまで地域の住民が健康の維持・増進を図るために、健康づくりについての組織の育成を進めるとともに、生活習慣を改善するための声かけや誘いかけなどの活動を推進できるような支援を行います。	4百万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>●区内10連合町内会に波及させる（現状6連合町内会）</li> </ul>
地域スポーツクラブ育成支援事業	札幌らしい地域スポーツクラブのあり方を検討するとともに、地域が主体となったスポーツクラブの運営に必要な情報提供機能の強化を図ります。	1百万円	
さっぽろスポーツキャラバン <sup>19</sup> 隊	市民に身近な地域密着型のレクリエーションスポーツの普及・振興を図るため、地域に出向いてスポーツプログラムや健康づくりプログラムなどを提供します。	10百万円	

<sup>18</sup> 地域スポーツクラブ スポーツ少年団、家庭婦人バレーボールなどをはじめとする地域に根ざしたスポーツクラブ。

<sup>19</sup> キャラバン 特定の目的のために、隊を組んで遠征したり各地を回ること。

## 施策 3 健康づくりを支援する社会環境の充実

市民の生活に密接なかかわりを持つ企業、学校、保健医療関係団体などの特性や機能を活かして、従業員の健康管理に対する職場の意識を高める取り組みや、企業・商店等が行う市民の健康を意識した活動の促進、子どもが健康や性について学ぶ機会の充実など、健康づくりを支援する社会環境の充実を図ります。

事業名	事業内容	事業費	備考
<b>「健康さっぽろ21」 推進事業【再掲】</b>	「健康さっぽろ21（札幌市健康づくり基本計画）」の着実な推進に向けて、市民の健康づくりへの関心を高めるきめ細かな情報提供、企業や職域との連携の基盤づくりなどを進めます。	34百万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ホームページによる健康支援プログラムの提供</li> <li>● 企業の健康管理体制の調査</li> <li>● 管理者への健康教育</li> </ul>
<b>外食料理栄養成分表示の推進</b>	外食料理店などの栄養成分表示の実施を促進するための普及活動を展開し、市民が主体的に健康管理を実践できる環境づくりを進めます。	4百万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 成分表示店マップの作成</li> <li>● ボランティアによる普及活動</li> <li>● ヘルシーメニューの推進</li> </ul>
<b>子どもや若者の健康に関する知識の普及啓発【再掲】</b>	子どもや若者に対し、性や健康に関する正しい知識を広げるため、保健センターと学校や医療機関との連携による健康教育の実施、効果的な相談体制の構築等を進めます。	26百万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 総合学習の時間を活用した、独自のプログラムによる性教育や乳幼児とのふれあい体験学習の実施など</li> </ul>

## 成果指標

		現状値	目標値
意識的に運動している人の割合（15歳以上）	男性	48.2% (H12)	58% (H18)
	女性	42.3% (H12)	52% (H18)
すこやか健診 <sup>20</sup> 受診率		42.2% (H14)	50% (H18)
健康づくりに取り組む自主活動グループ数		60 (H14)	300 (H18)
健康づくり応援企業・店舗数 <sup>21</sup>		438 (H14)	1,000 (H18)

<sup>20</sup> すこやか健診 健康診断を受ける機会のない40歳以上の自営業の人や主婦などを対象に、生活習慣病などの疾病の早期発見を目的に行っている健診。指定医療機関で実施。

<sup>21</sup> 健康づくり応援企業・店舗数 メニューの栄養成分表示を実施している外食料理店や、完全禁煙・分煙を行う商店・企業のほか、市民の健康づくりに役立つ情報提供などに取り組む企業・店舗の数。なお、現状値は、3メニュー以上の栄養成分表示をしている外食料理店として、札幌市から「栄養成分表示の店」のステッカーの交付を受けている店舗の数。